



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2016/2/29にご同意いただいた方

【研究課題名】 統合失調症、双極性障害およびうつ病の患者における精神疾患関連遺伝子の修飾に関する研究

【研究責任者】 新田 淳美（富山大学大学院 医学薬学研究部）

【本研究の目的及び意義】

末梢血の単核球中DNAの特定の精神疾患関連遺伝子のDNAメチル化状態を解析することにより、精神神経疾患の早期診断・治療につながるのではないかと考え、統合失調症、双極性障害およびうつ病患者の末梢血単核球中DNAのメチル化の程度を検討し疾患との関連を検討する。

【本研究に提供している試料・情報】

DNA

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)